

信楽小学校

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

IKOKA学習デザインを基盤とした、主体的・対話的な深い学びの実現を目指し、学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を育む教育の充実

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

「自分を信じ、仲間と学びを楽しむ子の育成」

- 校内研究を中心に、学習指導要領の趣旨及び読み解く力の育成に視点を置いた授業改善に取り組む。
- ICT機器を使った授業改善を日常的に進め、「個別最適の学び」「協働的な学び」の可能性を探る。
- 家庭学習推進の取組をブロック内小中連携事業と連動して進める。

【現状と課題】

- 視点1 主体的・対話的で深い学びへの授業改善は途上である。特に児童相互作用による交流学習に課題がある。
昨年度までの研究の継続により、課題についての共通認識はできている。
- 視点2 特別な支援を要する児童への支援が不十分である。授業のユニバーサルデザイン化と個別支援の両面に課題がある。
- 視点3 安心感のある学校づくりのため、校内での共通実践の明確化や学級経営に関する情報共有を継続していく。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①全学級授業公開を通じ、「読み解く力」の視点の一つ「書く力」の向上に向けて実証的研究を進める。また、一人一台端末の効果的な活用法、個に応じた支援のあり方についてOJT組織を中心に進めらる。	①【児童アンケート】4…とてもそう思う割合 「自分で考えて進んで学習しようとしている」25%以上 ②【保護者アンケート】4…とてもそう思う割合 「子どもは宿題だけでなく、進んで予習や他の学習をしようとしている」20%以上		

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①自分を信じ、仲間と学びを楽しむ子どもの姿を目指し、自尊感情を高め、相手も大切にする学びの機会をもつ。日々の学習活動の中で児童一人ひとりのよさを認める。	①【児童アンケート】4…とてもそう思う割合 「友だちや人を思いやり、困っているときは助け合っている」50%以上 ②【保護者アンケート】4…とてもそう思う割合 「子どもは、人に思いやりをもって、優しく接している」40%以上		

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①安心して学べる集団づくりを目指し、学級経営の方法や児童の実態などを情報交換する。 ②穏やかな校風と環境を作るため、「言葉」への意識を高める指導やESA(笑顔で先にあいさつ)運動の取組を進める。	①【情報交換する機会】 月に一度、情報交換する場を持つ ②【保護者アンケート】4…とてもそう思う割合 「子どもは自分で進んであいさつをしている」20%以上		

4月の職員会議において校長が教育目標や学校経営等のビジョンについて伝える機会に、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりで保護者や地域に発信する。

- ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については自信部とOJTグループ、視点2については二委員会と自信部、視点3については信頼部と教務部が中心となって、組織的に実践につなげる。
- ・職員会議では、取組の状況等を共有し、7月、12月の学校評価や、全国学力・学習状況調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策について(自信部、二委員会、信頼部等)でまとめ、9月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりで保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題